



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

高校生までの医療費扶助の 拡充を行うべき

町長 子育て支援策の充実について検討したい

乳幼児等医療費扶助の 拡充について

質問

私

は今まで5回、一般質問で高校生までの医療費拡充を求めてきましたが、一向に進みません。コロナ感染症による非常時というべきこの「時」こそ、子供の医療体制を万全にする施策を打つべきです。

現在の状況を見ると、食料品価格の上昇、電気、ガスなどのエネルギー関係の高騰が家計を直撃しています。特にお金がかかる子育て世帯は、物価上昇に反映した実質的賃金上昇が見込めない中、更に生活を圧迫しています。

子育て世帯の経済的負担軽減対策の一助となるよう、高校生までの医療費扶助の拡充を行うべきですが、町長の見解を伺います。

町長 全道的に見ましても、高校生までの医療費無償化が少しずつ増加傾向にある

ことは承知しています。

町として、現時点での高校生までの医療費無償化への支援は考えておりませんが、子育て支援対策は包括的に考える必要があり、今後も既存事業の拡充、見直しなどを図り、子育て支援施策の充実について検討していきたいと思えます。

再質問

地方自治体で、子育て環境の充実を地域社会に図っていくことは、非常に大事であると私は思っています。

私は、今までも類似した自治体の例を挙げながら、この施策の必要性を述べてきましたが、検討ということとで延び延びになってきています。

できない理由の中で、コンビニ受診の不安がありましたが、その実態などを調べた経緯があるか伺います。
保健福祉課長 コンビニ受診があつたかの確認はしていません。

再質問

今までの答弁では福祉審議会、高校のPTA、総合計画審議会の部会などで議論の場を設けるとありましたが、その経緯を伺います。

保健福祉課長

保健福祉課としては審議会などに諮ってはいません。

理由は、町の方針の中で高校生までの医療費無償化について明確な考え方が示されていないからです。しかしながら、保健福祉課内では議論はしています。

再質問

概算で近年、町の高校生自己負担医療費がどのくらいかかっているか教えてください。

保健福祉課長

令和3年度、高校生年代の20人で、自己負担額61万円程度の金額となっております。令和2年度では、18人で38万円程度、令和元年では17人で80万円程度です。

病院事務長

町立病院では、令和3年度で外科内科合わせて25件、合計で6万8千円です。

町長

子育て支援をどのように包括的に行っていくかしっかりと考えていく必要があります。

議員からいただいた意見を改めて受け止めながら、様々な施策を今後も検討したいと思えます。

